

2013年1月1日～2020年12月31日の間に 当科において膵癌に対する化学療法を受けられた方へ

—「膵癌の予後および化学療法反応性に関わる因子の検討」へご協力をお願い

—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 消化器内科 助教 加藤 博也

研究分担者 岡山大学病院 消化器内科 医員 内田 大輔

岡山大学病院 総合内科 助教 堀口 繁

岡山大学病院 光学医療診療部 助教 松本 和幸

岡山大学病院 消化器内科 医員 友田 健

岡山大学病院 光学医療診療部 医員 室 信一郎

岡山大学病院 消化器内科 医員 高田 斎文

岡山大学病院 消化器内科 医員 皿谷 洋祐

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

膵臓癌は非常に予後の悪い癌とされていますが、近年、新規薬剤の開発などにより徐々に改善が見込まれています。しかし治療選択肢が増えたことから治療方針が複雑化してきています。この研究の目的は過去の患者さんのデータを解析することで、より効率的な治療計画を策定するための因子を解明することです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究を行うことにより、膵臓癌の予後改善という医学上の貢献がなされることが考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2013年1月1日～2020年12月31日の間に岡山大学病院消化器内科において膵癌に対する化学療法を受けられた方200名を研究対象とします。

2) 研究期間

2018年2月16日～2021年12月31日

3) 研究方法

2013年1月1日～2020年12月31日の間に岡山大学病院消化器内科において膵癌に対する化学療法を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに膵癌の予後、治療効果予測因子に関する分析を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、既往歴、生活歴、血液検査、画像検査、病状経過などのデータ

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院消化器内科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年2月28日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院消化器内科

医師 加藤 博也

電話：086-235-7219 平日8時30分～17時

住所：〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5番1号